

令和6年度 下水道維持管理業務取組み発表会  
発表概要

所属 宝満川浄化センター
発表タイトル 茶殻を利用した硫化水素対策について
取組の目的 緑茶の茶殻を活用し硫化水素の低減し、躯体や脱臭剤の延命化並びに消臭剤の削減によるランニングコストの低減を図る。 また、茶殻のリサイクルによる資源の有効活用、薬剤の削減による環境への負荷低減を図り、循環型社会の実現に寄与するもの。
取組内容 当センターは昨年度の取組み発表会において、緑茶の茶殻による硫化水素の低減効果について発表を行った。 今年度、茶殻の効果について追加検証を行い、実現化に向け、お茶系飲料の製造工場より排出された茶殻による検証を行った。併せて実現化に向けた検討、課題の抽出を行った。
取組成果・効果 茶殻には硫化水素を低減する効果があり、工場から排出された茶殻においても同様の効果が確認された。しかしながら、茶殻の鮮度が重要であることも明らかになった。試行錯誤の末、天日乾燥した茶殻にも硫化水素の低減効果があり、生の茶殻よりも効果が長期に渡り持続することを確認した。